

【大学間協定留学】留学報告書

記入日:2022年1月9日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: メンフィス大学 現地言語: The University of Memphis
留学期間	2021年8月～2021年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2021年12月17日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月上旬 2学期: 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約20,000人
創立年	1912年

留学費用項目	現地通貨(\$)	円	備考
授業料	\$ 585	約 58,500 円	交換留学だったが、選択した科目によっては追加の費用を自費で払う必要があった。
宿舍費	\$ 3,715	約 371,500 円	
食費	\$ 900	約 90,000 円	自炊。TierEats というもので\$300 支払う必要有。TierEats はカフェテリアを利用する際に主に使うことになるが、売店で本や記念の T シャツを購入する時にも利用可能。\$300 を使い切ってしまった場合、チャージも可能。TierEats は、学内で使用できる Suica・PASMO というイメージ。
図書費	\$ 50	約 5,000 円	教科書をレンタル。
学用品費	\$ 10	約 1,000 円	ノート、ホチキス等。
携帯・インターネット費	\$ 45	約 4,500 円	
現地交通費	\$ 0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$ 200	約 20,000 円	
被服費	\$ 0	0 円	
医療費	\$ 30	約 3,000 円	ツベルクリン反応検査の費用。日本人は必ず受ける事になる。
保険費		57,330 円	形態:明治大学指定の保険。
渡航旅費		214,500 円	航空券の値段。
雑費		約 670 円	
その他		円	
合計		約 826,000 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:成田国際空港 目的地:メンフィス国際空港 経由地:オヘア国際空港

復路 出発地:メンフィス国際空港 目的地:羽田空港 経由地:ダラス・フォートワース国際空港

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社:JAL

料金:214,500 円

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社: 料金: _____

復路 航空会社: 料金: _____ ∴合計: _____

航空券購入方法

旅行代理店(店名: _____) インターネット(サイト名:JAL のホームページより) その他(_____)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Carpenter Complex) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 シャワー・トイレ、キッチンを4人で共用)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学から指定されたホームページから寮の申し込みをしました。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

メンフィス大学にはいくつかの寮がありますが、私は Carpenter Complex という寮で生活をしました。与えられた個室には机、ベッド、タンス、クローゼットがありました。シャワー・トイレ、キッチン、リビングは、他の3人のルームメイトと共有しました。また、キッチンには大きな冷蔵庫があったので、それも4人で使用しました。「現地情報」の2)でも述べますが、時々設備が不調となる経験をしたものの、生活に必要な最小限の設備は備わっていました。

注意点として、冷房とルームメイトについての2点を述べます。

まずは、冷房についてです。夏はどこに行っても室内は寒いと思った方が良いでしょう。教室も図書館も冷房の温度が低く設定されています。寮においても同じで、私がいた部屋は、冷房で70°F(約21°C)が当たり前でした。ルームメイトに寒いから冷房の温度を上げると言って2度だけ温度を上げたことがありましたが、気がついたらすぐに70°Fに戻されていました。他の部屋に住んでいる他国からの留学生に聞いても、部屋の冷房が寒く、温度を上げてみてもすぐに戻されてしまうと言っていました。さらに、11月になり外も十分涼しくなっていたにも関わらず、冷房を70°Fにされたことがありました。

次に、ルームメイトについてです。私の場合、冷房以上にルームメイトの部屋から聞こえてくる音に悩まされました。寮には留学生だけでなく、希望するアメリカ人も暮らしていました。個室にはテレビは備わっていなかったため、アメリカ人の学生らは部屋にテレビを持ち込んでいました。そして、夜中や明け方にテレビ番組や映画を大音量で流したり、テレビゲームで遊んでいました。おまけに、テレビゲームの最中に奇声をあげることが多々ありました。私は何度か彼らにテレビの音量やテレビゲームについて注意するように頼んだのですが、残念ながらあまり効果はありませんでした。

日本を出国する前、寮の希望をホームページを通して聞かれます。その際、普段の就寝時間を聞かれ、早めの時間帯を選択しましたが、このような結果になってしまいました。

皆さんが住む部屋で私のような目に合わないことを祈るばかりです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等:
鍵が故障: 4人が部屋に入るためのドアの鍵が一時おかしくなりました。オフィスに修理をお願いしたところ、約1か月後に直りました。
シャワーからお湯が出ない: 複数回シャワーからお湯が出なくなりました。これについては、オフィスに修理をお願いしたら、すぐに直りました。
ルームメイトについて: 上記の通り、ルームメイトのテレビ等の音に悩まされました。同じように騒音に悩んでいた、ルームメイトであるもう一人の留学生と話し合った結果、オフィスに連絡して彼らを感情的にさせたくないという意見で一致し、オフィスには連絡せず、口頭で静かにしてほしいと事あるごとに申し入れるに留めました。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネットで時々現地のニュースを確認するようになりました。私自身は直接事件に巻き込まれることはありませんでした。アジア人を差別する言動を見かけることもありませんでした。しかし、私がメンフィスに滞在していたわずか4カ月の間に、少なくとも2件の乱射事件がありました。そのうち1件目は、スーパーマーケットの Kroger で事件が起き、CNN で報道されていたのを、図書館にあるテレビでたまたま見かけました。メンフィスがあるテネシー州では、銃の所持は合法であることを忘れてはいけません。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学の Wi-Fi を使用していました。稀に Wi-Fi が繋がりにくくなりますが、さほど頻繁ではなく、不便を感じることはありませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本からは、USドルの現金を約50ドルと、クレジットカードと、日本の銀行のATMカードを持っていきました。
基本的に、買い物や外食の際は、日本から持って行ったクレジットカードで支払いを済ませました。ただし、友人らと主に Uber 代を割り勘する際には現金が必要になりました。あらかじめ持っていた現金がなくなった後は、大学内にあるATMで日本の銀行口座からUSドルの現金を引き出しました。1回あたり\$3.5の手数料が課されました。事前に現金を多めに用意しておくとういでしょう。また、アプリを利用していた人もいます。アプリを使い慣れていると良いかもしれません。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

大学の周りには Kroger, Target, Walmart 等があります。ただ、徒歩で行くには少々大変です。そのため、日用品の買い物に行く時は、車を持っている人をお願いをするか、Uber や Lyft を利用しました。

また、キャンパスから車で20分ほど離れたところではありますが、インターナショナルスーパーマーケットがあります。そこには、日本で見慣れたカレーのルーやマヨネーズ等、多くの商品があります。それ以外の所でも日本のカップ麺やお菓子等を見かけることができました。そのため、多くの物を日本から持って行かなくてもよいのではないかと思います。もし、カップ麺などの食料品を日本から持って行く場合、検疫で没収される可能性があるため、成分表に「肉」「チキンエキス」「ポークエキス」「ビーフエキス」等と書かれていない事を確認する必要があるようです。

薬は Kroger で買えますが、自分が普段使用しているものを念のため持参するべきだと思います。

キッチンの棚や冷蔵庫に入れておいた食べ物が他の人に食べられたという話を、他の部屋に住んでいた人から聞きました。また、先輩の留学報告書にもそのような被害にあった話が記載されていたのを確認しました。そのため、これは日本から持っていくことは難しいですが、部屋に置いておける小さな冷蔵庫を現地で借りると良いと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に、インターネットを通して、自分で指定したクレジットカードを用いて手続きをしました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 未定 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 1 学期の間に履修する授業の単位の合計が 12 以上になるように注意しました。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Project Plan/Cost Evaluation	プロジェクト計画/コスト評価
科目設置学部・研究科	Engineering Technology
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 55 分が 3 回
担当教授	Thomas E. Banning
授業内容	プロジェクトの評価と代替案の比較、現在・将来・勾配変換を含む等価値計算、工学経済アプリケーションの分析のためのスプレッドシート、キャッシュフローダイアグラム、ガント、PERT、CPM の図解法を含むプロジェクトマネジメント等についてでした。
試験・課題など	中間試験は 2 回実施されました。期末試験は筆記試験だけでなく、Microsoft Project というソフトウェアを使用する問題も出題されました。授業で Excel や Project を使用したので、課題はそれらを使用するものが主でした。また、文章で回答する課題も課されました。
感想を自由記入	プロジェクトを管理する側の人々が注意すべきことの講義については、言われてみると当たり前と思えることが多かったですが、使用するツールについては、知らないことばかりだったので、学びが多かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Automation and Robotics	オートメーション&ロボティクス
科目設置学部・研究科	Engineering Technology
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式及び Lab(実習)(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 55 分が 2 回
担当教授	Kevin Berisso
授業内容	座学の授業では、使用するロボットの操作法や、ロボットの分類、自動化されたワークセルと CIM システム、マシンビジョン、自動化用センサー、ワークセル支援システム、プログラマブルロジックコントローラ、リーン生産方式などについて扱いました。 座学の授業と別に週に一度実習がありました。この時間に、ロボットを実際に動かしました。一通りロボットの動かし方を確認した後、最終プロジェクトの準備期間にあてられました。授業時間は毎週 3 時間程でした。 授業時間数を上で「1 週間に 55 分が 2 回」と記載しましたが、正しくは、「座学の授業が、1 週間に 55 分が 2 回、実験の授業が、1 週間に 3 時間が 1 回」です。
試験・課題など	小テスト(Quiz)や、自力でロボットを動かせるかを確認する抜き打ちテストがそれぞれ 2,3 回実施されました。 課題については、その週にあったロボティクスに関連するニュースをインターネットから見つけ、記事を要約して報告するものが毎週ありました。 最終週は、期末試験ではなく、最終プロジェクトとして、グループに分かれ、事前に指示した仕

	事をロボットにさせる課題が与えられました。この他、レポート課題も課されました。
感想を自由記入	グループとなって、どのような仕事をロボットにさせるか、どのようなプログラムにするか、どのような機材が他に必要かなどを長い期間をかけて議論を重ねながら、形にしていきました。また、グループのメンバーだけでなく、他のグループの人とも話しあってアイデアを出し合いながら、皆で協力して進めました。非常に良い経験になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Control System Engr		コントロールシステムエンジニアリング	
科目設置学部・研究科	Electrical Engineering		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	未定 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 55 分が 3 回		
担当教授	Bonny Banerjee		
授業内容	主に、物理的線形システムの一般方程式とその伝達関数、サーボシステムの過渡解析と安定性、ボード線図、ニコルス線図、ナイキスト線図、ルース基準、根軌跡法について授業で扱いました。		
試験・課題など	試験は、中間試験と期末試験がそれぞれ 1 回ずつでした。 課題は複数回課されました。また、通常の課題と別に、2 カ月以上の期間を与えられて取り組んだ課題が 1 つありました。		
感想を自由記入	理論が難しそうに見えましたが、スライドを見直したり、教科書を読んだりして復習をして、出てくる数式を確認することで納得していました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Energy Conversion		エネルギー変換工学	
科目設置学部・研究科	Electrical Engineering		
履修期間	1 学期間		
単位数	4		
本学での単位認定状況	未定 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式及び Lab(実験)(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回		
担当教授	Hasan Ali		
授業内容	電気機械プロセスによるエネルギー変換、磁気システムにおけるエネルギー関係、磁気システム、変圧器、電気機械の数学的モデリング、直流および交流機器、風力発電や太陽光発電といった再生可能エネルギー等についてでした。 また、座学の時間で学んだことを実験の授業で確認しました。実験は週に 1 度、授業時間は毎週約 3 時間でした。 授業時間数を上で「1 週間に 85 分が 2 回」と記載しましたが、正しくは、「座学の授業が 1 週間に 85 分が 2 回、実験の授業が 1 週間に 3 時間が 1 回」です。		
試験・課題など	中間試験は 3 度、期末試験は 1 度実施されました。 課題は複数回課されました。また、試験や課題と別に、グループに分かれてプレゼンテーションを行いました。グループとプレゼンテーションをするテーマは先生から割り当てられました。 実験については、毎回実験レポートを提出しました。最後に確認テストもありました。		
感想を自由記入	座学の授業については、講義を受けただけでは理論を理解しきることができないことが多くありました。そのため、教科書を読んだり、インターネットで調べたりすることに多めに時間を割きました。もちろん、授業後に先生やクラスメイトに質問もするようにしました。 実験については、英語で初めてレポートを書くことになりました。そのため、初回の実験後、授業担当者に英語でレポートを書く際のフォーマットやその他の注意点を確認しました。初めの頃は慣れていなかったのですが、非常に大変でした。しかし、数を書いていくうちに慣れていき、後半ではあまり苦にはなりませんでした。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	10月: TOFEL 受験、11月: 学内選考出願、12月: 留学先決定
留学開始年	1月～3月	3月: 留学先への書類の提出開始、予防接種
	4月～7月	7月: 航空券購入、寮申し込み
	8月～9月	8月: 渡航、オリエンテーション(1週間)、授業開始
	10月～12月	10月: 中間試験、12月: 期末試験、帰国
留学/帰国年	1月～3月	1月: 留学報告書等を明治大学へ提出
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

授業を受け始めてすぐは特に、英語を聞き取ってメモを取ることを大変に感じると思います。全ての先生方の英語の発音が、日本の英語教材の音声のようにとても聞き取りやすいとは限りません。私の場合、授業を担当した 2 人の先生は皆さんが想像する聞き取りやすい英語を話す方々でなかったのが、苦労しました。出国前から様々な英語の音声に耳を慣らしておくの良いと思います。授業外の生活については、上でも述べましたが、冷房の問題について誰もが悩む問題だと思います。ルームメイトがうるさかったことについては、私は運が悪かったと思っています。基本的に静かにしてほしいとお願いすれば気を付ける人が大多数のはずなので、ルームメイトが部屋でうるさくしている場合は、勇気を出して静かにするようお願いしてみましょう。その他困ったことがあったら、自分で抱え込まず、留学先の大学関係者やクラスメイト、他の留学生らに相談してみましょう。きっとすぐに解決することでしょう。留学先を決めるにあたり、また、留学先がメンフィス大学に決まってから、本報告書ならびに近況報告書を参考にいただければ幸いです。また、最新の留学報告書だけでなく、是非先輩方の報告書も参考にしてください。似たようなことを書いている箇所も多々ありますが、また違ったことを記している方もいらっしゃると思います。留学前も留学期間中も心配事が多々ありましたが、様々な素晴らしい経験ができました。気になることがありましたら、国際教育事務室を通して遠慮なくご連絡ください。